

3. R4 芽室町議会実行計画書

(1) 政策課題

(i) 総務経済常任委員会

①子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク

・「町民にとっても自慢のできる、誇ることのできる新嵐山スカイパーク」を実現するために、新嵐山スカイパーク活用計画の進捗や予算の編成・執行などについて調査し、合わせて町が100%出資する新嵐山株式会社の経営状況並びに利用状況の把握に努め、町の貴重な財産である新嵐山スカイパークの有効活用に向けて町民との情報共有を図る。

(ii) 厚生文教常任委員会

①子どもたちの学習環境整備

・令和2年度に策定した「芽室町教育委員会ICT整備・活用指針」に基づき、全小中学校の児童・生徒にタブレット端末とAIドリルを導入し、教室には大型提示装置を計画的に導入してきた。今後も現行の活用指針について、ハード・ソフト両面からの課題の整理、展望等について調査が必要である。

また、少子化などにより部活動や校区など教育環境に様々な課題が生じてくることが予測されるため、町民からの意見聴取、または令和8年度までを計画期間とする芽室町立小中学校配置計画について適宜調査を行い、課題の整理、課題解決に向けて調査研究を行う。

進捗工程表

達成時期：R5年3月

所管委員会：総務経済常任委員会

施策（事業）名：子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク

【現状】

- 活用計画に基づき見直しが進められている
- R2年に活用計画に係る提言を行った
- R3年に指定管理者や関係団体等と意見交換を実施した

【目指す姿(目標)】

- ・町民が訪れる憩いの場
- ・芽室町内・町外から芽室のファンを創る場

【課題・政策】

- 改革の進捗状況の検証
- 今後の公共投資に関する町民ニーズの議会としての把握

[取組内容]

- ・R2提言書がどう活かされているのか確認する
- ・新嵐山スカイパーク全体的に現地調査する
- ・町民の声を聴取する

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
現状の把握							→	→	
現地調査							→	→	
町民からの意見の聴取							→	→	
指定管理状況の把握							→	→	

[R元年度評価] ⇒ R3年度新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R2年度評価] ⇒ R3年度新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価] ⇒ 概ね達成・継続

進捗状況	意見交換会、アンケート調査、現地調査を重ねて町民の意見や運営状況の把握に努めた。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	必要な改革として進められているが、町民の理解、共感を十分に得ているとは言い難い。「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク」の実現のため、施設活用や認知度・利用度を高めるための創意工夫、住民に理解される財産の活用・投資が行われるよう、令和4年度についても適宜調査を行い、委員会としても住民との情報共有に努める必要がある。									

[R4年度評価] ⇒ 概ね達成・完了

進捗状況	アンケート調査、現地調査などで町民の意見を確認しながら、改革の進捗状況や運営状況の把握に努めた。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<p>改革以降、新たな試みなどで新規の利用者を増加させてきた一方で、これまで利用を続けてきた町民層からは、レクリエーション、健康増進の視点が置き去りにされているとの意見もある。町的意思を示し、町民と情報を共有し、議会で議論しなければ、十分に理解が得られた改革にはなり得ない。</p> <p>レクリエーション、健康増進など新嵐山スカイパーク設置条例の趣旨に対し、町がどのような考えで臨むのか、指定管理者制度の運用において、住民サービスの向上や経費削減などが達成されているかという視点で、「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク」が実現できるよう適宜調査を進める必要がある。</p>									

[R元年度評価] ⇒ R3 年度新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 2 年度評価] ⇒ R3 年度新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 3 年度評価] ⇒ 概ね達成・継続

進捗状況	委員会調査、現地調査により実態・状況把握を行い、町民との意見交換会を通して町民意見の把握に努めた。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	3つの課題のうち、① ICT 活用に向けての環境整備(ハード・ソフト両面)については4回の委員会調査と現地視察の実施により調査を深めてきた。また② CS に係る町民周知及びボランティア受入れの体制整備については1回の委員会調査を行っている。 令和4年度についても、①芽室町教育委員会ICT整備活用指針について、引き続き課題の整理、展望等について調査を進める。また、②芽室町立小中学校配置計画について令和8年度までを計画期間とする現行計画について。適宜調査を行い、課題の整理、課題解決に向けた取り組みについて整理する。									

[R 4 年度評価] ⇒ 概ね達成・完了

進捗状況	委員会調査、現地調査、先進地視察により実態・状況把握を行い、町民との意見交換会を通して町民意見の把握に努めた。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	令和3年度から抽出事業のテーマを「子どもたちの学習環境整備」と設定し、調査研究を行ってきた。令和4年度は5回にわたる委員会事務事業調査を実施し、タブレット持ち帰りルール、不登校支援システム、子どもの学習環境(ICT)などについて現状把握と課題整理を行った。また、学校配置計画を含めた将来的な教育環境の整備については、次期芽室町立小中学校配置計画(令和9~16年度予定)への反映に向け、当別町の小中連携教育の現									

況調査を行った。

本町においては ICT を活用した学習環境整備について、ハード面での整備は一定進んでおり、今後はどのように活用していくかというソフト面での取り組みについて、引き続き委員会として調査していくことが必要と考える。また、小中一貫教育の導入については、本町でも検討を始めたところではあるが、学校配置計画の検討も間近に迫っていることもあり、新たな教育システムの構築に向けて、早急に全体ビジョンを定めていく必要がある。児童・生徒数減少などの物理的課題の解決にのみ焦点を当てた改革や学校配置計画の見直しにならぬよう、早期の議論開始が必要である。なお、議論の過程において、多くの住民と協議を重ねることにより、事業導入への理解に裾野を広げ、同じベクトルをもって強力に事業を推進していく力にもつながることを、委員会での調査を経て確認することができた。

このような視点を持ち、今後も学習環境の整備、小中一貫教育について、委員会としても調査・研究を進めていく必要があると考える。